

研究課題名	レジリエンスアプローチによる医療安全スキルの向上と心理的安全性醸成への試みーインシデント0レベルを分析してー
本研究の目的	従来の医療安全対策は、「失敗には原因があり、それは特定できる」ことを前提とした「Safety-I」という概念が主流である。しかし、複雑化した日常業務において、各インシデントに個別の原因を見つけ、新たなルールを強化していくことは、煩雑さを含め様々な弊害がある。一方近年では「なぜうまくいっているのか」に着目し、各人の状況に合わせた調整がチームや組織全体としてうまく統合され、物事がうまく行われるようにマネジメントする「Safety-II」という概念、すなわちレジリエント・ヘルスケア (Resilient Health Care : RHC) に基づいたレジリエンスアプローチの考え方が注目されている。さらにチームの協働や医療安全の根幹を支える重要な役割として「心理的安全性」がトピックとなっている。特にインシデント0レベル事例を分析することは、現場の適応力や柔軟性、強みを可視化し、心理的安全性を醸成させるための重要な要因となり、医療安全スキルを向上させる可能性がある。本研究の目的はインシデント0レベル事例をレジリエンスアプローチの視点から分析することにより、現場の適応力や柔軟性、強みを可視化し、医療安全スキルを向上させ、職場の心理的安全性を醸成するための要因や行動特性を明らかにすることである。
研究期間	倫理審査委員会承認後～ 2026年 03月 31日
調査データ該当期間	2023年 04月 01日～ 2025年 09月 30日
研究の方法	<p>●対象 当院において2023年4月1日～2025年9月30日までに放射線科にて報告されたインシデント0レベル報告10例を対象とした。</p> <p>●用いる試料・情報 当院の放射線科において報告されたインシデント0レベル事例</p>
お問い合わせ先	電話：0944-58-1122（代表） 研究責任者：南出 哲也 (放射線科)